



三菱パイプ用ファン(人感センサー付)
【トイレ・洗面所用】

形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	機能	電気式シャッター付
V-08PA ₈	角形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	停止タイプ	-
V-08PAD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
V-08PAS ₈	角形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	停止タイプ	●
V-08PAD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
V-08PALD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	24時間換気タイプ	-
V-12PAS ₈	角形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	停止タイプ	●
V-12PAD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
V-12PALD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	24時間換気タイプ	-

形名によって取扱いが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。
形名表示位置は「3.各部のなまえ」を参照ください。

取扱説明書

お客様用

お客様自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお、ご使用前に「1.安全のために必ず守る事」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

1.安全のために必ず守る事

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

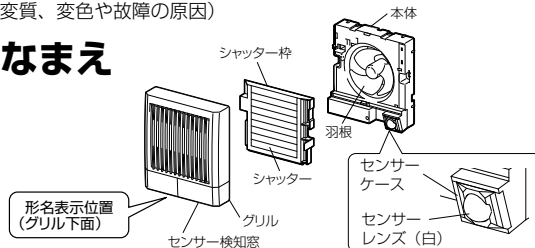
	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
	禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。
	水ぬれ禁止	●製品に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない ショート・感電の原因。
	分解禁止	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。
	ぬれ手禁止	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電・けがの原因。
	指示に従う	●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。 ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。 ●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く 発煙・発火の原因。 ●がたつきがないよう刃の根元まで確実に差し込む 感電・けがの原因。
	プラグを抜く	●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。

	注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
	禁止	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。 ●高温(40℃以上)になる場所や直接炎があたりたり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所では使用しない 火災の原因。
	接触禁止	●運転中は羽根の中に指や物を入れない けがの原因。 ●電気工事は必ず電気工事に依頼する 感電の原因。
	指示に従う	●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。 ●お手入れの後の部品の据付けは確実に 落下によるけがの原因。 ●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く 感電・ショートの原因。
	プラグを抜く	●長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

2.ご使用にあたってのお願い

- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください(中性洗剤をご使用ください)。シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など(異常音の発生、変質、変色や故障の原因)

3.各部のなまえ



4.使用方法

運転開始と停止(自動運転と連続運転の切替え)は本体の運転スイッチで行います。

※壁スイッチがある場合は壁スイッチは「入」、本体の運転スイッチは「自動」または「連続」でご使用ください。ただし、本体の運転スイッチを「自動」に設定した場合、壁スイッチで「切」⇒「入」の度に約1分間、強制運転します。

24時間換気タイプ

24時間換気用としてご使用されるときは、特別な場合(運転異常・点検・お手入れ)を除き、本体の運転スイッチは「自動」でご使用ください。

センサー検知範囲

- センサー検知範囲は、裏面の4.据付方法 センサー検知範囲を参照ください。
- センサー検知範囲を左右に変更する場合は、裏面の4.据付方法 センサー検知範囲を左右に変更する場合を参照ください。

運転モード

人の動き		検知エリア内に人がいない	入室	退室
	24時間換気タイプ	換気扇の動き 運転ランプ	弱運転 点灯	強運転 点灯 (人検知時は2回点滅)
停止タイプ	換気扇の動き 運転ランプ	停止 消灯	運転 点灯 (人検知時は2回点滅)	残置運転→停止 (約11分) 点灯→消灯

※電気式シャッター付は(残置)運転時にシャッター開、停止時はシャッター閉

自動モードについて

- 電源投入直後約1分間は、強制運転します。
- 強制運転中に人を検知できなかった場合は、運転を停止(または弱運転)します。
- 運転ランプ(赤)は運転中(弱運転時含む)点灯し、停止状態で消灯します。
- 人を検知するたびに2回点滅します。
- 換気扇が据付けられている部屋に人が居ても、センサー検知範囲内に人が居ない場合、もしくは検知できない場合は運転(または強運転)しません。
- 入室中でも長時間(約11分間)人の動きがない場合、運転を停止(または弱運転)することがあります。
- 自動運転時の待機状態について(停止タイプのみ)
センサーが検知範囲内の人の有無を検知し続けるために運転が停止した状態でも約0.3Wの電力を消費します。

故障ではありません

〈センサーは検知範囲内の温度変化を検知して動作します〉
自動運転時、以下のような場合は検知しにくくなったり、一時的に誤動作することがありますが、故障ではありません。

検知しない・検知感が鈍い		
●室温が人体温度に近いとき(夏季など)	●人が静止しているとき	●センサーに真っ直ぐ近づくとき
勝手に動作する		
●強力な電波や電磁的雑音を受けたとき	●人以外の熱源を検知したとき(冷・暖房器具の入/切時や、温風・冷風を受けた時)	●太陽光やヘッドライトの光を受けたとき
●外気が侵入したとき	●ゆれるものや動くものが近くにあるとき	

5.お手入れ

グリル(センサー検知窓)、シャッター、羽根、センサーレンズにほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生・検知不良の原因になりますので、約4か月に1度を目安に清掃してください。

- 長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検(「愛情点検」をご参照ください)をお願いします。

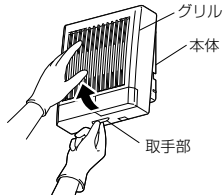
	警告	●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。
	注意	●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。

お願い

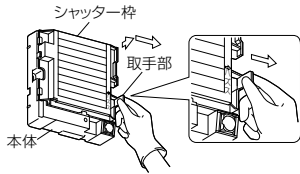
- 洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。
- お手入れの際、シャッターはシャッター枠からはずさないでください。また、シャッター・羽根・センサーレンズ・モーターの軸に無理な力をかけないでください。(シャッター開閉不良や異常音発生の原因)

1. 清掃部品のはずしかた

1. グリルの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げてはずす。
● 本体からグリルをはずす際、グリル正面を支えながらはずしてください。(落下によるけがの原因)



2. シャッター枠の取手部を持ち、手前に引きながら横(シャッター枠刻印ハズス⇒の方向)にスライドさせて取りはずす。(電気式シャッター付のみ)

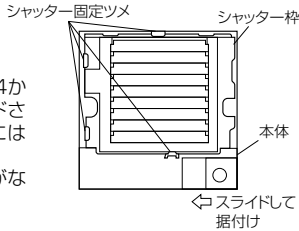


2. 清掃のしかた

1. グリル(センサー検知窓)は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗い、よく乾かす。
2. 羽根、本体、シャッター(枠)、センサーレンズは中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふく。

3. お手入れ後の清掃部品の据付け

1. 据付けは取りはずしと逆の順序で行う。
● シャッター枠は、右図のシャッター固定ツメ4か所に引掛かるよう本体右側から左側へスライドさせて据付けてください。(シャッター中央部には力を加えないでください)
● 据付け後、シャッター枠と本体との間に隙間がないかを確認してください。
2. 据付け後、次の確認をする。
(1) グリル、シャッター枠が確実に据付けられていますか。
(2) 異常な音が出ていませんか。(必ず運転をして確認してください)



6. 修理を依頼される前に

● 次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原因	点検・処置
壁スイッチを入れても羽根が回転しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか	差し込みます
	分電盤のブレーカーが切れていませんか	「入」にします
	本体の運転スイッチが「切」になっていませんか 運転ランプが点滅(0.5秒間隔)し続ける場合は、センサー接続不良です	本体運転スイッチを「自動」または「連続」にします 販売店または工事店へ連絡します
運転が停止しない	本体の運転スイッチが「連続」になっていませんか	「自動」にします
	24時間換気タイプ(V-08・12PALD _a)は、運転が停止しません	正常です
シャッターが開かない、シャッターが閉じない	シャッターにほこり・水・異物が付着していませんか	清掃します
	シャッターがシャッター枠やシャッター同士で引っ掛かっていませんか	引っ掛かりを取り除きます
	電子式スイッチ(半導体制御による速調スイッチ・タイマー等)と組み合わせ使用していませんか	販売店または工事店へ連絡します
	シャッターやシャッター枠が確実に据付けられていますか	据付け直します
シャッターがはたつく、羽根が逆回転する、回転が遅い、または不規則	外風の影響によって発生する可能性があります	無風状態で確認します
	本体・グリル・シャッターが確実に据付けられていますか	据付け直します
運転中に異常音や振動がする	羽根・グリル・シャッターにほこり・異物が付着していませんか	清掃します
	故障ではありません をご覧ください	
人を検知しない	室温が30℃以上になっていませんか	30℃以下で確認します
	センサーの向きは適切ですか	センサーの向きを調整します 裏面の4据付け方法を参照ください
	センサー検知窓やセンサーレンズにほこり、異物が付着していませんか	清掃します
勝手に動作する	故障ではありません をご覧ください	
こげ臭いにおいがする	故障です 運転停止してください	販売店または工事店へ連絡します

● モーターの軸受は時間が経つにつれ、回転がなじんで音が変化することがありますが異常ではありません。

7. アフターサービス

■ 修理を依頼されるときは

● 修理料金は 技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。
● 技術料…故障した製品を正常に修復するための料金です。
● 部品代…修理に使用した部品代金です。
● 出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

● ご連絡いただきたい内容

1. 品名 三菱パイプ用ファン
2. 形名 ○○-○○○○
3. お買上げ日 年 月 日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

■ ご不明な点や修理に関するご相談は

● お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■ ご相談窓口・修理窓口のご案内(住宅用換気送風機)

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

● お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、**各窓口**へお問い合わせください。

■ お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様から提供いただきました個人情報(下記のとおり)をお取り扱いします。
1. お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関するお客様よりご提供いただいた個人情報。本目的から製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の把握を預かることがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいた場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合があります。
② 法令等の定める規定に基づき開示。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

■ ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

● 三菱電機換気送風機技術相談センター

フリーダイヤル
0120-726-471 (無料)
携帯電話・PHS対応
三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659 (有料)
〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

■ ご相談対応

平日(土・日・祝及び弊社休日以外)
9:00~12:00
13:00~17:00

■ 修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

● 三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル
0120-56-8634 (無料)
www.melco.co.jp
2次元コードでも簡単にアクセスできます。

携帯電話・PHSの場合
TEL 0570-01-8634 (有料)
FAX 0570-03-8634 (有料)

※所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

● 電話番号をお確かめのうえ、お間違のないようにおかけください。

S20A-KANK1-B

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このパイプ用ファンの補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

8. 仕様

(電圧100V)

形名	消費電力(W)	風量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
V-08PA _a	2.1 2.4	75	85	21	23.5	0.63
V-08PAD _a	2.1 2.4	75	85	21	23.5	0.6
V-08PAS _a	4.6 5	75	85	24	26	0.72
V-08PASD _a	4.6 5	75	85	24	26	0.68
V-08PALD _a	強	2.1 2.4	75 85	21	23.5	0.6
	24時間換気(弱)	1.3 1.4	45 47	16	16	
V-12PAS _a	6.1 6.7	135	145	29	31	1.1
V-12PASD _a	6.1 6.7	135	145	29	31	1.11
V-12PALD _a	強	3 3.3	135 145	28	30	0.93
	24時間換気(弱)	2.3 2.5	105 105	21	21	

※特性はJIS C 9603に基づく開放時の値です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。
(設計上の標準使用期間とは)
※運転時間や湿度など、標準的な使用条件(右表による)に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。
● 本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
● 「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

環境条件	標準使用条件 JIS C 9921-2	定格電圧による
電圧	単相100V	定格電圧による
周波数	50Hzおよび60Hz	定格周波数による
湿度	20℃	JIS C 9603から引用
温度	65%	
設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件	定格負荷	「仕様」による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ^{注)}
		台所 2410時間/年
		居室 2193時間/年
		トイレ 2514時間/年
		浴室 1671時間/年

注) 24時間換気のもの、8760時間/年とする。

愛情点検 ☆ 長年ご使用の換気扇の点検を!

使用 中止

ご使用の際このようなことはありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。
- (モーターはメンテナンスが必要な部品です) つけ臭いにおいがする。
- 本体据付部に腐食、破損などがある。

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ

サービスを依頼されるごとき便利

形名

お買上げ店名(住所)(電話番号)

お買上げ年月日

年 月 日

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。(材質名は主材料にISO規定の略号を使用。)

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

三菱パイプ用ファン(人感センサー付) (トイレ・洗面所用)

形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	機能	電気式シャッター付
V-08PA ₈	角形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	停止タイプ	-
V-08PAD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
V-08PAS ₈	角形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	停止タイプ	●
V-08PASD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
V-08PALD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	24時間換気タイプ	-
V-12PAS ₈	角形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	停止タイプ	●
V-12PASD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
V-12PALD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	24時間換気タイプ	-

据付説明書 販売店・工事店様用

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

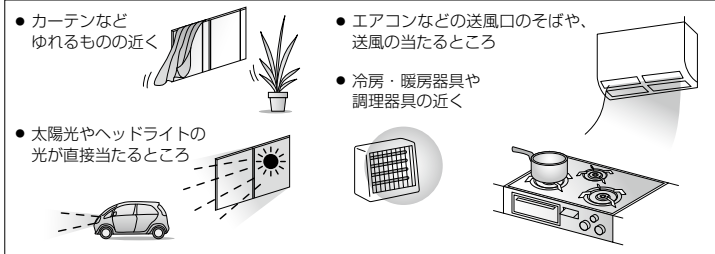
- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。(間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります)
- 電気工事は電気工事の方が実施してください。
- 形名をよく確認し用途にあった場所に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。(故障の原因になります)
- 形名によって据付方法が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材(屋外フードなど)を据付けてください。
- 雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを据付けることをおすすめします。
- 接続パイプは市販品の塩化ビニル管または銅板管のいずれかをご用意ください。

形名	適用パイプ	付属部品
V-08PA ₈	塩化ビニル管	木ネジ2本
V-08PAD ₈		
V-08PAS ₈	VP、VU(呼び径100mm)	
V-08PASD ₈	銅板管(内径100mm)	
V-08PALD ₈	銅板管(内径100mm)	
V-12PAS ₈	塩化ビニル管	
V-12PASD ₈	VP、VU(呼び径150mm)	
V-12PALD ₈	銅板管(内径150mm)	

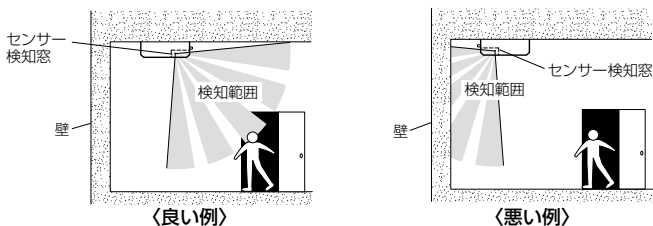
1.安全のために必ず守ること ⇒梱包箱をご確認ください

2.据付前のお願い

- 高温(40℃以上)になるところに据付けしないでください。(故障の原因になります)
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けしないでください。(故障の原因になります)
- 燃焼機器の排気口の近くには据付けしないでください。(燃焼機器から排出された排気ガスが含まれた外気が、強風のときなどに室内に侵入すると、異臭などの原因になります)
- 以下のようなところには据付けしないでください。(誤動作の原因になります)



- 天井据付の場合、センサー検知窓を壁面側に向けて据付けしないでください。(検知不良の原因になります)



- システム部材(屋外フードなど)は壁厚にあったものを選んでください。(壁厚により据付けられないものがあります)
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- アルミフレキシブルダクトへの据付はしないでください。(振動の原因になります)
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

3.各部のなまえと外形寸法図

- 各部のなまえ ⇒裏面の取扱説明書の「3.各部のなまえ」をご確認ください
- 外形寸法図 ⇒梱包箱をご確認ください

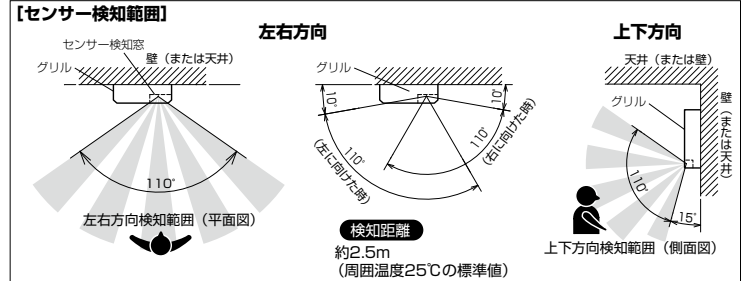
4.据付方法

1 据付前の準備

- 通常の入室の動作で人体を検知するよう、下記の検知範囲を参考にして適切な据付位置を選定してください。

センサー検知範囲

センサーの特性上、検知範囲(下図 部)を横切る動きは検知しやすく、センサーに真っすぐ近づく動きは検知しにくい場合があります。センサーレンズの向きは左右に変更することができますので、検知しにくい場合は検知しやすい向きに変更してください。



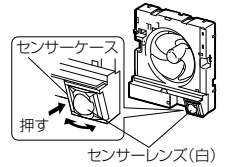
※工場出荷時、センサーレンズは正面を向いています。

センサー検知範囲を左右に変更する場合

1. 本体からグリルをはずす。
- グリルのはずしかたは裏面の5.お手入れを参照ください。
2. 手でセンサーケース(黒)の左右を押して方向を変える。

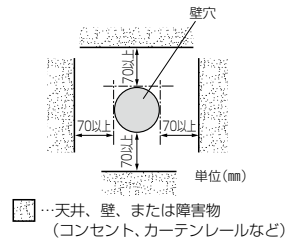
お願い

- センサーレンズに無理な力をかけないでください。センサーケースを押して向きを変えてください。



壁据付の場合(壁穴への接続パイプの固定)

1. 据付場所を決めて壁穴をあける。
 - 右図の壁穴位置をご確認ください。
 - 接続パイプには塩化ビニル管の薄肉(VU)と厚肉(VP)管および銅板管があります。壁厚に応じて長さを決めてください。
 - 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。

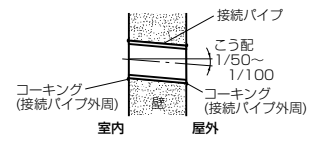


お願い

- 据付位置は右上図の位置になるようにしてください。右上図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合やメンテナンスができなくなる場合、運転スイッチの切替えができなくなる場合があります。
- 吹き抜けなどの高い位置には据付けしないでください。(検知不良の原因となります)

2. 壁穴に接続パイプを確実に固定する。

- 接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
- 電源電線を室内に引き込んでから(電気工事参照)行ってください。
 - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
 - 室内への水浸入を防ぐため、接続パイプは室内壁面まで差し込みます。

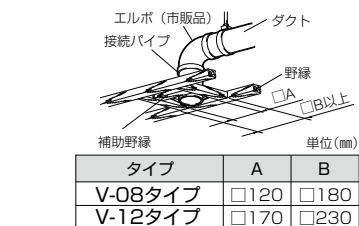


お願い

- 接続パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

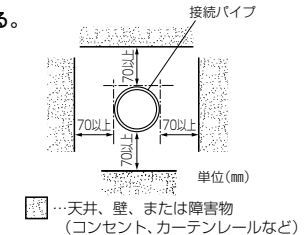
天井据付の場合(野縁工事とダクト工事)

1. 下図のように野縁工事をし、ダクト工事をします。

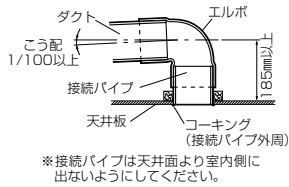


お願い

- 接続パイプが壁から右上図の位置になるようダクト工事を行ってください。右上図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合やメンテナンスができなくなる場合、運転スイッチの切替えができなくなる場合があります。



- ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板を張る。
- エルボと天井板の間は接続パイプを接続する。
- 接続パイプと天井のすき間はコーキング処理を施す。



お願い

- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。

2 電気工事

電源電線の接続・電気工事などは、必ず専門の工事店へご依頼ください。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。
- 当社製以外の電子式スイッチ（半導体制御による速調スイッチ・タイマーなど）をご使用の場合は組合せ上、不具合が発生するおそれがありますのでご使用の際はあらかじめご確認ください。

警告

- 交流100Vを使用する直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。

注意

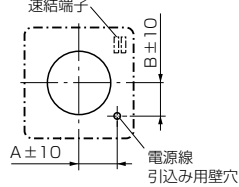
- 電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う。接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- 電気工事は電気工事店に依頼する感電の原因。

電源プラグタイプの場合

内線規程に基づくコンセントを室内の換気扇の近くに設ける。

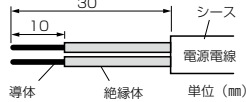
速結端子タイプの場合

- 電源電線を右図の位置から室内に引き込む。
 - 電源電線はVVFφ1.6またはφ2.0 2芯をご使用ください。



タイプ	A	B
V-08タイプ	60	50
V-12タイプ	75	55

- 電源電線の先端を右図に合わせて皮むきする。
 - 端子部への水の浸入・ほこりの浸入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。



3 本体の据付け（壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです）

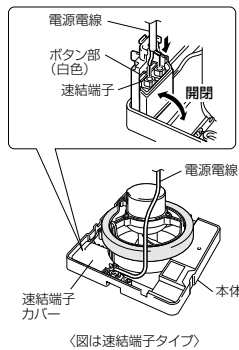
- 本体からグリルをはずす。
- 結線をする。
（電気工事は電気工事士の方が実施してください）

速結端子タイプの場合

- 速結端子カバーを右図のように開ける。
- 電源電線を速結端子に差し込む。
- 速結端子カバーを元通り閉じ確実に固定する。

お願い

- 電源電線は確実に速結端子に差し込みます。速結端子より導体が出ないようにしてください。
- 電源電線を軽く引いて速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源電線をかみ込まないように本体面に密着させて配線してください。
- 電源電線を速結端子よりははずす場合は、ボタン部（白色）を押しながら電源電線を引き抜いてください。



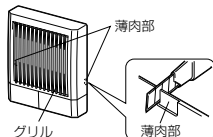
（図は速結端子タイプ）

電源プラグタイプの場合

- 電源プラグを左右から出す場合グリルの薄肉部を切り欠いてください。本体上部の切り欠き部は市販のテープなどでふさいでください。

お願い

- 電源コードをかみ込まないように本体、グリルの切り欠き部から引き出してください。

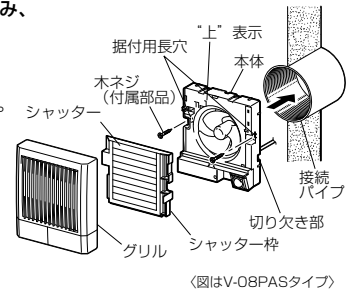


- 本体の上下を確認して接続パイプに差し込み、付属の木ネジ2本で本体を固定する。

- 本体の刻印「上」を上側にして据付けてください。
- 左右の据付用長穴をご使用ください。必要に応じて上下部ネジ穴（V-12タイプのみ）をご使用ください。
- 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。

お願い

- インパクトドライバーは使用しないでください。本体の固定部分が破損するおそれがあります。
 - 本体を接続パイプに差し込むとき、シャッター中央部（電気式シャッター付タイプ）およびセンサーレンズに力を加えないでください。（シャッター開閉不良・センサー検知不良の原因になります）
- グリルを本体に据付ける。
 - グリルの方向を確認して、本体に据付けてください。
 - 以上の据付けが終了した後、本体とグリル、シャッター枠が確実に据付けられているか確認する。



（図はV-OBPASタイプ）

5. 試運転

- 運転スイッチを「自動」に設定し、センサーが人の動きを検知するかを確認してください。
 - ※ 電源を投入する度に約1分間は強制運転しますので、電源投入後1分以上経過してから確認してください。
 - ※ 人の動きを検知すると運転ランプが2回点滅します。
- 製品が運転・停止（電気式シャッター付タイプはシャッターが開閉）するかを確認してください。
- 異常な音・振動などがないかを確認してください。

お願い

- 検知しにくい場合は、センサーレンズの向きを調整し、再度確認してください。センサーレンズの向きの変更方法は4.据付方法の「センサー検知範囲を左右に変更する場合」を参照してください。